

## 令和元年度第1回辰野町総合教育会議議事録

### 【日時】

令和元年7月24日(水)

開会 午前10時00分

閉会 午前11時40分

### 【会場】

辰野町民会館103学習室

### 【出席者】

12名

#### (辰野町関係者)

辰野町長 武居 保男

辰野町副町長 山田 勝己

#### (辰野町教育委員会)

教育長 宮澤 和徳

教育長代理 根橋 久人

教育委員 村上 陽子

教育委員 垣内 由佳

教育委員 関 政彦

#### (事務局関係)

総務課長 小野 耕一

生涯学習課長 西原 功

こども課長 加藤 恒男

こども課長補佐

兼学校教育係長 桑原 さゆり

学校教育係 向山 倅生

### 【傍聴者】

3名

## 1. 開会のことば

＜小野総務課長＞

定刻になりましたので本会議を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 2. 町長挨拶

＜武居町長＞

令和元年度の第1回目の総合教育会議になります。ここで改めて本会議の設置目的等について振り返らせていただきます。新教育委員会制度や総合教育会議ができた背景には、およそ8年前に滋賀県大津市で起きた中学生の自殺という痛ましい事件があります。その事件では、責任の所在が不明確であり行政側なのか教育委員会側なのか分からなくなってしまいました。また、日頃の意思疎通が十分でないために危機感の対応が非常に遅かったという指摘がありました。このことから平成27年より教育委員会制度が改正されたということになります。

この総合教育会議の目的、主旨は、「町長と教育委員会の意思疎通を図り辰野町の教育課題、目指す姿等を共有し連携して効果的に教育行政を推進していく為、総合教育会議を設置する」となっております。その中で協議、調整事項として4点挙げられております。1点目が「教育行政の大綱の作成」、2点目が「教育施策の具体的な方向付け」、3点目が「教育の条件整備など重点的に講ずる必要のある課題」、4点目が「児童生徒等の生命・身体の保護等、緊急に講ずる必要のある措置」となっております。

本日も教育現場における重要な課題について皆様のご意見を伺いたいと思います。教育委員の皆さんとの会議は年に数回しかございませんので、日頃感じていることやご意見をお出しいただきながら今後の方向付け等をやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 3. 教育長挨拶

＜宮澤教育長＞

令和になって初めての総合教育会議でございます。

昨年度は大変猛暑であり、昨年7月19日は辰野町で過去最高記録であった35.7度を超えて36.2度を記録しました。急遽、町でも臨時の校長会を開き、熱中症対策の指示を出したり協議をしたりしました。教育委員会では塩分タブレットを確保して8月いっぱいを乗り切るという方向を決めました。

現在では保育園・学校でエアコンの設置工事が進んでいますが、このきっかけになったのも猛暑でした。このエアコンの設置工事でも町の理解をいただき順調に進み、川島小学校につきましては他の小学校より一足早く工事が完了いたします。これに向けましても多額の財政支出が伴ってございましたけど、町当局の深いご理解の元、できたということで大変ありがたく思っているところでございます。

今日の総合教育会議でございますけど、子どもを取り巻く教育環境あるいは保育環境、また社会教育施設の関係等、どんどん変化しておりますので様々な課題が出てきております。いずれも教育委員会にしますと学校・保育園の問題、社会教育の関係も喫緊の課題として位置付けております。常に、事ある度に町長と教育長あるいは担当課長とで意思疎通を図ってまいり、常にご理解をいただいております。

いずれにしても、教育行政は非常に多額の財政を伴うわけですが常に理

解していただいて最優先の課題として取り組んでいただいてありがたいことだと思います。しかし、見方を変えますと全体のパイは変わらないのに教育委員会関係を多く支出していくこととなりますので他の部分を先送りしたりということが起こっているわけでございます。教育委員会にしますと、ありがたいだけではなく、それに対して応えていかなければならないという責任があると思っているところでございます。

教育委員会としましても、これからも保育園あるいは学校の環境整備をしていき、学ぶ子どもたちの教育を全面的に支えていきたいと思うわけでございますけど、引き続き町当局にはご理解をよろしくお願いしたいと思います。

今日もいくつかの重要な課題がありますし、新たな提案もさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

#### 4. 協議

##### (1) 町内小・中学校の教育環境について

① 今後の整備計画（空調設備、トイレ様式化、長寿命化） 【資料 No.1】

② 新学習指導要領に伴う設備（ICT 教育環境整備、外国語活動） 【資料 No.1】

③ その他

・宮澤教育長、加藤こども課長より資料 No.1 について説明。

① 今後の整備計画

- ・町内全小中学校の教室、職員室等へ空調設備を8月末までに設置予定。
- ・トイレの洋式化について、川島小学校は今年度改修し、東小学校、西小学校は来年度改修する予定。南小学校は今後、長寿命化工事の中で一体的に改修する予定。
- ・辰野中学校第2体育館の改修は来年度予定。
- ・プールについては、老朽化が進んでおり、改修費用と使用頻度を考慮し、今後在り方から検討する必要がある。

② 新学習指導要領に伴う設備

- ・ICT教育環境整備では、ICT教育支援主事を置き、タブレットPCなどの整備を進めている。
- ・小学校3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語教育は、ALTの補助を得て学級担任主導で進める。
- ・小学校1・2年生については、保育園で学んだ「英語あそび」からの空白をつくらないように年間10時間程度の「外国語あそび」の時間を設ける。
- ・来年度、町費で英語の先生を確保し、保育園年長児と小学校1・2年生を対象とした外国語活動支援を行うこと、12月の予算査定を待たずに8月から募集をかけることを提案。

##### <教育委員>

小中学校の環境整備に関しまして、空調設置等はお金が掛かることだと思います。計画的に事を進めていただきたいと思いますと思っております。

プールについて、熱中症対策として使用する機会が少なくなるならば、辰野町としてもその在り方を検討してみる必要があると思います。一回は検討してみて、どういう方法が一番子どもたちのためになるのか考えるべきだと思います。

小学校の外国語活動に関しましては、これから英語の重要性が大きくなると思いますのでやはり子どもたちにきちんとした英語を覚えていただくことが大事だと思います。

<教育委員>

エアコンの方は、昨年から早急に整備していただいております。子どもたちが今年から使えることをすごく楽しみにしていて、これから勉強を集中してできることを期待しています。

プールの件ですが、子どもたちにとっては必要だと思いますので整備をしていただきたいです。プールの授業で泳ぐことも大事かもしれませんが、水難等の事故の時に自分の身体をどう守るのか、例えば服を着たまま水の中に入ったらどうなるのかの体験を取り入れていただけたらと思います。

外国語活動の方ですが、やはり小さい頃から英語に触れていると抵抗なく取り組めると思います。子どもたちが授業だけでなく、授業以外でも触れられるような環境を作っていただけたらと思います。

<教育委員>

今月の初めに各学校を訪問させていただいて、この学校のプールは大丈夫、この学校の理科室は比較的きれい、など感じました。町全体として考えて、この授業はこの学校で良い、という風に例えばこの学校の子どもたちと他の学校の子どもたちが一緒に理科室で勉強することも良いと思います。臨機応変にそういうことができれば町の施設を有効に利用できると思います。

プールの件も、他の学校は修繕せずに1校だけの修繕にすれば費用も抑えることができかなり違ってくると思います。

外国語活動ですが、辰野町の子どもたちが少しでも楽しいと思って英語が学べる環境を作っていただけたらと思います。どうしたら楽しく学べるのか考えていくべきだと感じています。

<教育委員>

プールの件につきましては、すべての小中学校を改修することは厳しい話だと思います。ですので、1校もしくは2校を特化し改修してそこにプールのプログラムを落とし込んでいくのが良いのではと思います。学校への移動があるのでプールのみをやって戻るのではなく、例えば東小学校に行ってプールをやった後、次の時間は美術館を見て帰ってくる、川島小学校に行ってプールをやった後は独特な自然環境を味わってくる、給食を一緒に食べる、などプールをきっかけにそのようなことができるのも一つのアイデアだと思います。

外国語活動ですが、保育園と幼稚園で力を入れてやっていただいておりますので義務教育の中でも継続して取り組める形が町として理想ではないかと思っています。

<山田副町長>

辰野町の財政の話になりますが、みんなで智恵を出し合っています。小学校の空調設置に関しましては、国から補助金が出ました。あまり良い額の補助金ではなかったのですが、それで対応しています。問題は、保育園の空調設置になります。保育園の方は補助金がないです。そこでみんなで智恵を出し合いました。保育園は避難所に指定されています。防災の関係から調べてみましたら、緊急防災対策事業債という起債がありました。それが該当していましたのでそれを使って保育園の空調設置を行っています。

外国語の関係ですが、子どもの頃から英語をやっていくがどうしても大人になると喋れなくなってしまいます。私もそうでしたが、文法を勉強し始めてから授業が

嫌いになってしまった気がします。今は、その対策はどうしていますか。

<宮澤教育長>

今は、文法はあまり主眼を置かなくなりました。とにかく話せる英語ということで耳から入って口から出すという感じになっています。昔は、書くことがメインでありました。結局は、英語を話すことは楽しいと小さい頃から学んでいければと思います。保育園、小学1年生に対してはどんな指導者が教えるのかがとても大きいと思います。英語嫌いな子を作って中学へ送ってしまったら、中学の英語教育は大変なことになります。英語嫌いな子を作らないでいただきたいと思います。とにかく、英語を嫌いではなく英語は楽しいという感覚を小学生の内に身に付けて欲しいです。

(2) 保育園関係の整備について

- ①平出保育園の今後について **【資料 No.2】**
- ②その他の環境整備 **【資料 No.2】**
- ③その他

- ・宮澤教育長、加藤こども課長より資料 No.2 について説明。
- ・平出保育園については、平出区内の他の公共施設に併設する方向で現在検討中。地元からの要望を受けた4月以降の検討状況を報告。
- ・空調設備、東部保育園の改修で今年度全園が完了するトイレの洋式化、保育料無償化について説明。

<教育委員>

平出保育園については、だいぶ前から今の場所等の話は出ていたと思います。一番良いのは新しい場所に移って新しい保育園を建てることだと思いますが、それに伴う財政が大変な金額になるのだらうと思います。また、候補地が実際にあるのが問題だと思います。候補地がないということになれば、公共施設に併設するという考えも出ると思います。併設する場合も費用がかかるので、新設と併設とでどのくらい費用が違ってくるのかも検討していかなければと思います。

<加藤こども課長>

費用面の関係で少し研究を進めておりますので報告させていただきます。新しい場所に移って新築になると億単位で物事を考えていかなければいけないと思っています。一方で、他の公共施設に併設した場合は数千万円単位で整備できることが多いのだらうと思っています。具体的な数字は、内容が固まっておりますので相対的に言いますと新たな場所を確保して新設するよりも併設した方がはるかに費用を抑えることができると考えております。

<山田副町長>

土地については、平出地区の中にいくつか候補地がありますが、それぞれに購入が必要であったり入り口が狭い等課題がありますのでなかなか厳しいのかなと思います。

(3) 町内社会教育関係施設の整備について **【資料 No.3】**

- ① 町民会館、町民体育館
- ② 荒神山スポーツ公園内施設

### ③ その他

- ・西原生涯学習課長より資料 No.3 について説明。

#### <教育委員>

町民体育館等の町の体育施設を使わせていただく機会が多いですが、やはりいろいろなところで痛んできているなど思っています。先日も町民体育館を使わせていただいたのですが、駐車場や施設内を早急に手を付けていただきたいと思います。

#### <教育委員>

町民体育館ですが、国体の時に合わせてバレーボールの会場として建設されたという記憶があります。私もバレーボール協会にお世話になっている関係で、あの体育館は、昔はバレーボールの日本リーグをやったりしていました。その当時から非常に施設的に厳しい面があったと思います。それに加えて、年数が経って老朽化ということですので、別の場所に建て替えるまでとは言いませんが、あそこの体育館を辰野町のメインアリーナとして使うのであれば、改修はともかく何かもう一捻り欲しいように思います。合宿でよく使われているのでそういう用途としては良いと思いますが、何か大会等をやるには駐車場のアクセスとかキャパの問題とか大型車両の侵入の問題とかがあります。

また、荒神山スポーツ公園の国道からのアクセスで大型車両が通れないので、荒神山全体を見直していく中でそういうところも絡めていかないと利用価値が下がってしまうと思っています。

### (4) 川島小学校に関する議論の経過について 【資料 No.4】

- ・松本まちづくり政策課長補佐より資料 No.4 について説明。

#### <教育委員>

川島小学校の将来を考える連絡会議に関しましては、町長をはじめ町の皆さんがいろいろな智恵を出して何とかしようと進んでおります。そのような中で、今まで地域住民に支えてもらって、長野県移住モデル地区への申請等々、本当にお世話になっていると思います。

8月に小学校施設の有効な活用について検討することに関しましては、もう少し川島区全体で認識していかなければならないと思います。会議では有効な活用方法について話が出ましたが、実際にまだ地域住民には知れ渡っていないような気がします。ですので、各耕地ごとで話をしていかないと具体的なものが回ってこないのかと思います。今後、どのようにしていくのかが大きな課題ではないかと思います。

#### <宮澤教育長>

川島小学校の将来を考える連絡会議を4回行ってきて、町と教育委員会と地元の代表の方とで協議してきましたが、会議の内容は川島地区の一般の住民には下りているのでしょうか。

#### <教育委員>

回覧板で回っております。議事録を作って、各耕地で回覧して住民には分かるようになっております。

#### <宮澤教育長>

川島は広くて様々な意見があるところなので意見を一つに集約することは難しいことだと思います。

<山田副町長>

前回の会議で、子育て世代や女性の方の参加が少ないことを指摘されましたので、8月の会議はもっとそのような世代を集めて行います。

<松本まちづくり政策課長補佐>

子育て世代の女性に広くお声掛けをして、いろいろな意見を出していただきたいと思って調整を進めています。やはりご年配の男性の方が多いので、実際に子どもに接している年代の方、特に子育てをされている女性の声をお聞きする必要があるのではと考えています。

## (5) その他

<山田副町長>

6月28日に上伊那地域の高校の将来像を考える協議会がありまして、上伊那地域の高校の将来像についての意見、提案を県に提出するものになります。そこで、素案から完全な案としてまとめましてパブリックコメントをしています。このパブリックコメントを受けて秋に県に報告する形になっているそうです。もう皆さんも見ていますかと思いますが、この会議で検討されてきた内容は、辰野高校は中山間存立校に該当するわけですが、中山間存立校の高校の配置については「地域の学びの拠点と位置づけ単独の学校として存続し地域と密着した学びを活かして地域人材の育成を図るなど他の枠にとらわれない学びを確執することが望ましい」となっています。言っていることは、地域と連携してやっていきなさいということです。

また、総合学科高校がまだ南信地区に設置されていないこと、総合技術高校を設置することも謳われています。何が懸念されるかと言いますと、辰野高校は商業科がありますが、駒ヶ根市に商業科のある赤穂高校がありそこに総合技術高校ができますと、商業科がそっちに全て統合されてしまうということです。辰野高校として特色のあるのが商業科です。それを考えると普通科だけになってしまった時にどういう在り方にしていくのが課題になります。

あと、在り方の中で、今までは地域に教育委員会も丸投げをしていたわけですが、これからは教育委員会を主導をもって財源を考えていくようにと文言がまとまっています。これからの動向について、皆さんにも注視していただきたいと思います。

また、辰野町もそういうことを受けまして、辰野高校には辰野高等学校教育環境整備期成同盟会があります。これは辰野町で環境整備をしていこうということで、町からは町長、議会議長、副議長、教育長等が、高校からは同窓会長、PTA会長、PTA役員等が集まった会議であります。過去はこれをやっていなかったのですが、今年から始めまして6月25日に会議を開きました。それぞれの持っている意見を受ける中で、辰野高校を守っていこうという意見が多く出ています。

もう一つは、今までは辰野町から同盟会に負担金として18万円拠出していてこれをもって環境整備をするように言っていました。ですが、今年から予算を増やしまして100万円を同盟会に出しています。同盟会の方もいきなり100万円という大きな金額が来ましたので何に使うか研究しています。そのような形で辰野高校も町からの補助金を受けて環境を整備していきたいと動いております。

また、辰野町には信州豊南短期大学がありそちらの方にも今年から120万円の補助金を出しています。どのように使っていくのか分かり次第、皆さんにも報告させていただきますと思いますのでお願い致します。

## 5. 総括

### (1) 町長

本日はありがとうございました。それぞれの議題ごとに私のコメントをと思いましたが、総括してお話させていただきます。

今日の一番大きな議題は、外国語教育だと思いました。私も話を聞いた時にブランクがあるということで、保育園でやっているのに小学校1、2年生はやっていないという状況を何とかしなければいけないとの現場の声を聞かせていただいて早急に対応していかなければと思いました。何とか良い先生が発掘できればと願っております。

平出保育園についてもいろいろと要望を受けておりますけど、地区内の公共施設に併設が町の無理のない方向性だと思っております。これからもっともっと研究させていただいて進めていきたいと思っております。

社会教育関係施設についても、荒神山スポーツ公園と一概に括っておりますけど、多種多様な競技ができる施設ですので辰野町にとっては誇れるものだと思います。まだまだ部分的に補修改修をしなければいけない施設がありますけど、あそこを拠点としてスポーツ文化の振興を図っていきたいという思いであります。

川島小学校の問題も1年経過しまして、当初は空気が統廃合やむなしという流れでありましたがチャレンジさせて欲しいということで、小学校を残すことは守りと思われるかもしれませんが私にとっては最大の挑戦でありました。これほどの攻めの気持ちはないと理解してもらいたいと思っております。あそこで守りに入っていたら、その後のど真ん中作戦も全部守りに入っていたと思っております。辰野高校の存続の問題も出ておりますけど、絶対に残すという主義でやっていきたいと思っております。

先ほどの議題(1)の教育環境の問題で、私がいろいろと考えた中ではと思ったことは、例えば川島小学校のプールで集約して授業を行う、自然環境の良い川島を体験するということです。実を言うと、私が提案に出した「各校舎化」という考え方はそれに通じるころがあります。西校舎、東校舎または川島校舎でも良いですが、ある部分を機能的に特化できるものが頭の中にちらほらあったので、今後も辰野モデルというものが考えられるようになりまして少し検討していきたいという思いであります。

ものを言わせない社会ではなくて、ものを言える社会をつくっていききたいと思っておりますのでこれからもいろいろな方のご意見を聞かせていただきたいと思っております。それがきっと平出保育園の問題等、いろいろな問題に通じていくと思っておりますのでぜひまた皆さんのお力添えをお願いしたいと思っております。

### (2) 教育長

1時間30分という時間の中で、有意義な話し合いができて良かったと思っております。さらにいよいよ具体的に物事を進められるような感じがして感謝しております。

1つ目の教育環境においては、来年から始まる新しい学習指導要領の完全実施は小学校、中学校にとって本当に重大なことで町からも全面的に協力をいただいております。実は、小学校1、2年生の英語活動は全くやっていないわけではなくて、年間数時間やっていますがもう少しそれを厚くしたいという思いでございます。英語の町費の職員を一人確保していただけるということで、理想を頭の中で描きながら



進めていければと思っております。いずれにしましても、保育園、幼稚園から小学校、中学校へと英語教育を充実させていく部分は、先ほど町長が言われた町の攻めの一策にもなるのかなと思います。

2つ目の平出保育園の在り方については、やはり目の前の園児のことを考えていくと今の環境を何とかしたいと思えます。それについてもご理解いただいて、今後これから先どうなるのかは分かりませんが、公共施設の中に併設が本当に可能かどうかを含めて8月以降、教育委員会事務局で様々な観点から実際に現場を見て歩いてみたいと思えます。また、他の事例から学ぶこともして場合によっては視察もやっていかなければならないと考えています。

社会教育関係施設に関しては、町民の憩いの場でありスポーツの原点でもあります。さらに発展していければと思えます。

川島小学校の問題ですが、教育委員会のスタンスは今までと同じように目の前の子どもたちの教育環境を最大限に整備していくことです。これは児童数が一人になっても教育委員会としては継続してやっていかなければと思っております。その部分もご理解いただいて川島小学校につきましても空調設備やICT教育整備等、環境整備が進められてありがたく思っているところでございます。

今年度は最低でももう1回、総合教育会議を開きたいと思っております。今回はこんなようなことを考えております。先ほどの英語活動の関係で、一歩進めても良いという方向が出ましたので、時期はまだ分かりませんが小学校の英語活動を参観していただき実態を掴んでいただいてそこを中心に協議できればと思っております。

今日はありがとうございました。

## 6. 閉会のことば

<小野総務課長>

それでは閉会とさせていただきます。ありがとうございました。